

平成25年 第8回教育委員会 会議録

日 時	平成25年8月20日（火） 午後1時30分～2時15分
場 所	向日市役所 大会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事 務 局	教育部長、次長兼教育総務課長、次長兼学校教育課長、生涯学習課長、中央公民館長、天文館長、文化財調査事務所長、図書館・文化資料館長、教育総務課担当課長、学校教育課担当課長、学校教育課主幹2名、学校教育課指導主事、教育総務課主査
議 題	議案第7号 平成26年度使用小中学校教科用図書の採択について 委員会諸報告
傍 聴 者	1人
委員長	開会宣言
委員長	まず、議案第7号「平成26年度使用小中学校教科用図書の採択について」を上程する。
事務局	<p>— 議案第7号提案説明 —</p> <p>平成26年度に小中学校で使用する教科書の採択について審議いただくものである。</p> <p>市立小中学校特別支援学級で使用する一般図書の採択については、学校教育法第34条第1項及び第49条の規定により、文部科学大臣の検定を経た教科書、又は文部科学省が著作の名義を有する教科書を使用しなければならないこととなっているが、特別支援学級においては、学校教育法附則第9条の規定により、一般図書を教科書として使用することができることとなっている。</p> <p>この規定に基づき、各学校において、障がいのある児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人ひとりの障がいの状態と発達の状況にあわせた適切な教科書を、それぞれの種目ごとに、当該学年や下学年用の文部科学省検定教科書、文部科学省著作教科書の使用を考慮したうえで、「一般図書一覧」を参考に選定している。</p> <p>中学校においては、すべて現在本市が採択している文部科学省検定教科書を使用するため、採択いただく一般図書はなく、小学校においては、教育委員会において適切でないとされている問題集等が含まれていないことや価格等について精査し、資料の一覧表にある105冊を選定したものであり、採択を提案するものである。</p>

	<p>また、平成26年度に小中学校で使用する教科書については、「平成26年度に使用する教科用図書」にあるとおり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び施行令第14条により、4年間、種目ごとに同一の教科書を採択するものとされており、平成26年度についても同様の教科書を採択していただくよう提案するものである。</p> <p>以上、平成26年度に使用する教科書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第6号の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。</p> <p>— 各委員 展示図書を確認 —</p>
委員長	<p>議案第7号の採決を行う。</p> <p>(全員挙手)</p>
委員長	<p>議案第7号は承認された。</p>
委員長	<p>次に、委員会諸報告について説明願う。</p>
事務局	<p>— 平成25年度いじめ調査について —</p> <p>(別紙資料②) に基づき説明</p> <p><b>【質疑等】</b></p>
委員	<p>いじめの態様として「冷やかしゃからかい」「仲間はずれ」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり」等が多いが、その他にはどのような内容のものがあるのか。</p>
事務局	<p>例えば、小学校では、消しゴム等の文具等を違う場所におかれ、それが嫌だったというようなものも含まれている。中学校では携帯電話等を持ち始める時期でもあり、携帯電話を介してのトラブルが小学校よりも多い状況である。</p>
委員	<p>アンケートに書かれている「誹謗中傷」という言葉について、小学校の児童にはイメージしにくいのではないか。</p>

事務局	<p>特に小学校では児童が分かりやすいように言葉をかみくだいて聞き取っている。また、低学年では児童との個別の面談の中でそういったことにも配慮して丁寧に聞き取っている。</p>
委員	<p>第2段階の内容、態様についてはどのようなものが多いのか。また、それらについての今後の対応はどうされるのか。</p>
事務局	<p>態様では、やはり「冷やかしゃからかい」「仲間はずれ」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり」等が多い。今後の対応としては、いずれのケースも継続した指導や見守りが必要であり、その学年を担当している教員をはじめその子に関わる教員の中で情報を共有化し、指導にあたっていくことになる。</p>
委員長	<p>それぞれの事象について継続的、組織的に対応していくことがこれからも必要ではないかと思う。</p>
教育長	<p>昨年の緊急調査の際にも学校に行ってアンケートを実際に見てきたが、記名であっても子ども達はたくさん自分の思いをアンケートに記入している。継続的な指導が必要なものについては学校も内容をしっかり把握しており、教員の中で情報を共有化している。さらに、アンケートについては外部の目ということでPTAや学校評議員等にも目を通してもらっており、今後も継続して学校でしっかり取り組んでくれるものと思う。</p>
委員	<p>いじめられている子を守るだけでなく、いじめている子については、どのように指導されているのか。</p>
事務局	<p>個別に指導をしていく中で、嫌な思いをさせていたという意識が低いケースもある。しかし、アンケート等で訴えた子が嫌な思いをしているということを指導する中で相手の気持ちに気づくことができ、反省につながっている。</p>
教育長	<p>アンケートには「いじめをなくすためにどうすれば良いと思うか」という項目があり、自分の思いを素直に書いている子どももいる。先生方はそれらも把握しており指導に生かしている。</p>
委員長	<p>どんなことがいじめにつながるのかということに気づくことは大切である。このような調査を続けていくことで、自分がしていることに気づき、考えられるようになることも大切であると思う。</p>

委員長	<p>次に、「向日市議会平成25年第3回定例会提出予定議案」についての報告を願うが、この報告については、公開することにより今後の市議会での予算審議への影響も考えられるため、秘密会にしたいと思うが、賛成の方は挙手願う。</p> <p>(全員挙手)</p>
委員長	<p>全員挙手により秘密会とする。</p> <p>(以下秘密会)</p>
委員長	<p>秘密会を解く。</p>
委員長	<p>閉会宣言</p>